

交通結節点における各種案内に関する他県事例

東部地域①

資料 1-6

タイトル	小松市自動運転バス導入事業		
取組地域	石川県小松市	実施者	【主体】小松市
実施時期	2024年3月		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>小松駅～小松空港（片道4.4km）を結ぶ区間で、自動運転バス（ティアフォー製「Minibus」）を導入し、2024年3月9日から自動運転レベル2で通年運行を開始</u></li> <li>・ 2025年3月28日には、同ルートの全体／一部区間で自動運転レベル4の車両認可を取得した。</li> <li>・ 事業は2022年8月に小松市・BOLDLY・ティアフォー・アイサンテクノロジー・損保ジャパンの連携協定に基づき推進され、国・県・大学・交通事業者の広範な協力体制で実施した。</li> </ul>		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅と空港が至近距離にある都市特性（レール&amp;フライト）を活かし、<u>広域移動拠点を強化</u>する役割を担う。</li> <li>・ 自動運転ソフトウェア「Autoware」や遠隔監視プラットフォーム「Dispatcher」を使用し、先進的な運行管理を実現した。</li> <li>・ 信号機との連携、路車協調カメラ、ローカル5G等を活用した高度なインフラ連携を実施した。</li> <li>・ 走行環境は信号17箇所・一般車と混在走行など、<u>高度な自動運転が求められる実交通下での運行</u>を行った。</li> </ul>		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動運転バス利用者は2024年9月19日で累計1万人を達成し、前年同月比で平均2倍以上の利用増加となった。</li> <li>・ アクセス向上により観光客・ビジネス客の移動がスムーズになり、地域経済への波及効果やまちなかの人流増加に寄与した。</li> </ul>		
参考資料URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小松市HP（自動運転バス導入事業について） <a href="https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1985/rosenbasu/4/16328.html">https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1985/rosenbasu/4/16328.html</a></li> <li>○国土交通省プレゼン資料（小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バス導入事業） <a href="https://www.mlit.go.jp/scpf/archives/docs/event_seminar250129_komatsu-shi.pdf">https://www.mlit.go.jp/scpf/archives/docs/event_seminar250129_komatsu-shi.pdf</a></li> </ul>		
静岡県内の他地域展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通結節点の接続を自動運転で行っている事例 ⇒富士駅－新富士駅間の自動運転実証実験の類似事例</li> </ul>		

## 交通結節点における各種案内に関する他県事例

実現に向けた留意点	特になし												
関連図面等													
<p>■定常運行のルート</p> <p>—— レベル4認可対象経路    —— 今後レベル4認可に向けて取り組む経路</p> 													
<p>■自動運転バスの導入に向けた連携協定での各社の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小松市</td> <td>事業主体</td> </tr> <tr> <td>BOLDLY 株式会社</td> <td>プロジェクト全体の進行管理や遠隔監視・運行システム構築等</td> </tr> <tr> <td>株式会社ティアフォー</td> <td>自動運転バス車両及び自動運転システムの提供</td> </tr> <tr> <td>アイサンテクノロジー株式会社</td> <td>高精度三次元地図の作成等</td> </tr> <tr> <td>損害保険ジャパン株式会社</td> <td>リスクアセスメントを含む安全性に関する支援</td> </tr> </tbody> </table>		名称	役割	小松市	事業主体	BOLDLY 株式会社	プロジェクト全体の進行管理や遠隔監視・運行システム構築等	株式会社ティアフォー	自動運転バス車両及び自動運転システムの提供	アイサンテクノロジー株式会社	高精度三次元地図の作成等	損害保険ジャパン株式会社	リスクアセスメントを含む安全性に関する支援
名称	役割												
小松市	事業主体												
BOLDLY 株式会社	プロジェクト全体の進行管理や遠隔監視・運行システム構築等												
株式会社ティアフォー	自動運転バス車両及び自動運転システムの提供												
アイサンテクノロジー株式会社	高精度三次元地図の作成等												
損害保険ジャパン株式会社	リスクアセスメントを含む安全性に関する支援												
<p>出典：松山市 HP（自動運転バス）</p> <p><a href="https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1985/rosenbasu/4/index.html">https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1985/rosenbasu/4/index.html</a></p>													

## 交通結節点における各種案内に関する他県事例

### 東部地域②

タイトル	おかげバス環状線と他交通機関との乗車割引実施／駅構内にバスの乗継割引券を設置		
取組地域	三重県伊勢市	実施者	三重県伊勢市
実施時期	2020年		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の公共交通の利用を促し、市内を移動しやすくするため、主要な医療機関や商業施設、行政施設などを回るバスを運行した。</li> <li><u>おかげバス環状線と他交通機関（おかげバス、路線バス、鉄道、地域運営乗合タクシー）との乗継割引</u>を実施した。</li> </ul>		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢市駅（JR 東海と近鉄の共同使用駅）の構内に乗継割引券を設置した。</li> <li><u>乗継割引券を受け取り「おかげバス環状線」に乗ると、バス運賃から100円の割引が受けられる。</u>また、<u>路線バスやコミュニティバスとの乗り継ぎについても100円の割引</u>となっている。</li> </ul>		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数が増加 おかげバス環状線利用数：令和1年度 38,625人→令和5年度 57,226人に増加</li> </ul>		
参考資料 URL	<p>○伊勢市 HP おかげバス環状線 <a href="https://www.city.ise.mie.jp/res/projects/default_project/page/001/004/993/r7_3-4.pdf">https://www.city.ise.mie.jp/res/projects/default_project/page/001/004/993/r7_3-4.pdf</a></p> <p>○伊勢地域公共交通会議 再エネ由来の電力を使った電気バスの運行や公共交通の利用促進 <a href="https://www.estfukyu.jp/pdf/2024forum/iseshi.pdf">https://www.estfukyu.jp/pdf/2024forum/iseshi.pdf</a></p> <p>○国土交通省 中部運輸局 公共交通ライブラリ これならできるかも！？地域公共交通活性化の取組事例集（R06年度作成） <a href="https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/library/pdf/R6_torikumijirei.pdf">https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/library/pdf/R6_torikumijirei.pdf</a></p>		
静岡県内の他地域展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗継割引により、利用者の乗継のハードルが小さくなる。</li> <li>複数の公共交通機関と連携し、乗継割引を実現している好事例。</li> </ul>		
実現に向けた留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体と交通事業者が目標を共有する必要がある。</li> </ul>		

交通結節点における各種案内に関する他県事例

関連図面等

■乗継割引の概要

**おかげバス環状線と他交通機関との乗継割引について**

おかげバス環状線⇄路線バス・おかげバス(デマンド含む)・鉄道・地域運営乗合タクシーを乗り継ぐと、おかげバス環状線の運賃が100円割引となります。  
※一乗車につき1枚分(100円分)のみ使用できます。

**乗継割引券の受け取り方法**

<p>路線バス・おかげバス(デマンド)等をお降りの際、乗務員に「環状線との乗継割引券をください」とお申し出ください。 往復での利用の際は2枚、片道での利用の際は1枚お受け取りください。 ※乗継割引券は環状線でのみご利用いただけます。</p>	<p>▶お降りの場合 行きで受け取った乗継割引券とともに、残りの料金をお支払いください。 ▶環状線から初めて乗車する場合(初乗り) お降りの際、乗務員に「〇〇と乗り継ぎます」とお申し出ください。環状線の料金から100円を割引いたします。</p>
<p>乗継割引券は伊勢市駅(外宮側)改札口内に設置してあります。 往復での利用の際は2枚、片道での利用の際は1枚お受け取りください。 ※乗継割引券は環状線でのみご利用いただけます。</p>	<p>▶お降りの場合 行きで受け取った乗継割引券とともに、残りの料金をお支払いください。 ▶環状線から初めて乗車する場合(初乗り) お降りの際、乗務員に「鉄道と乗り継ぎます」とお申し出ください。環状線の料金から100円を割引いたします。</p>

出典：伊勢市 HP  
おかげバス環状線  
[https://www.city.ise.mie.jp/res/projects/default\\_project/p](https://www.city.ise.mie.jp/res/projects/default_project/p)

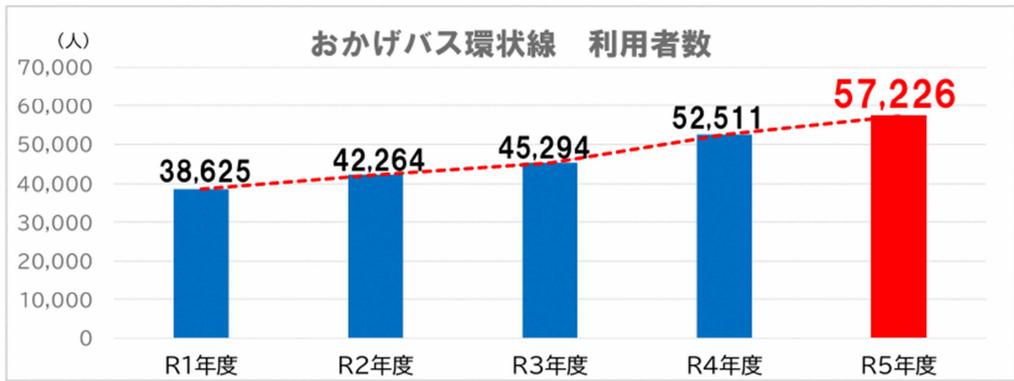
■乗継割引券



伊勢市駅構内に乗継割引券を設置

乗継割引券(バス)

■利用者数の推移



出典：伊勢地域公共交通会議 再エネ由来の電力を使った電気バスの運行や公共交通の利用促進  
<https://www.estfukyu.jp/pdf/2024forum/iseshi.pdf>

交通結節点における各種案内に関する他県事例

東部地域③

タイトル	乗継ポイントサービス		
取組地域	大阪市	実施者	【連携】Osaka Metro・大阪シティバス・いまざとライナー
実施時期	2025年4月		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>Osaka Metro・大阪シティバス・いまざとライナーを <u>1か月に乗り継いだ回数</u>に応じてOsaka Point がたまる。</li> <li><u>たまったポイント</u>は、PiTaPaの交通利用代金への還元、ICOCA <u>チャージによる乗車でのご利用</u>やOsaka Point 提携店でのお買い物・お食事のお会計時に、<u>1ポイント1円としてご利用</u>いただける。</li> </ul>		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>付与するポイント数は、乗り継ぎ時間によって変化</u>する。ポイント数は、地下鉄とバスの90分以内での乗り継ぎが120ポイント、90分超えでの乗り継ぎが60ポイント、バスとバス（いまざとライナーを含む）の90分以内での乗り継ぎが230ポイント、地下鉄といまざとライナーの90分以内での乗り継ぎが180ポイント、90分超えでの乗り継ぎが90ポイント。バスとバスの90分以上の乗り継ぎは、ポイントを付与しない。</li> <li>また、小児運賃の場合は、半分相当のポイントが付与する。</li> <li>なお、「PiTaPa利用額割引マイスタイル・プレミアム」を登録をしている場合、ポイントは大人1000ポイント、小児500ポイントが上限となる。</li> </ul>		
取組効果	-		
参考資料URL	<p>〇〇-METRO  <a href="https://osakapoint.com/noritsugi-point/">https://osakapoint.com/noritsugi-point/</a>          〇みんなでつくる鉄道コム  <a href="https://www.tetsudo.com/news/3353/#google_vignette">https://www.tetsudo.com/news/3353/#google_vignette</a></p>		
静岡県内の他地域展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさん乗り継ぐことによりたくさんポイントを貯め、それが買い物等に活用できることから、利用者の乗継のハードルが小さくなる。</li> <li>複数の公共交通機関と連携し、乗継のポイント付与を実現している好事例である。</li> </ul>		
実現に向けた留意点	特になし		

交通結節点における各種案内に関する他県事例

関連図面等

■ポイント数

ポイント数

1 地下鉄－バス乗継



2 バス－バス乗継



3 地下鉄－いまざとライナー乗継



■ポイント付与の方法

乗継ポイントの付与は乗車月の翌月末です。  
 たまったポイントの有効期限は翌年度3月末です。なお、ICOCAチャージが可能な期限は3か月後の末日です。



出典：O-METRO  
[https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/symposium/pdf/R7/02\\_hakuhodo.pdf](https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/symposium/pdf/R7/02_hakuhodo.pdf)

## 交通結節点における各種案内に関する他県事例

### 東部地域④

タイトル	40年ぶりに増収した北海道の「奇跡の黄色いバス」		
取組地域	北海道十勝市	実施者	十勝バス
実施時期	2011年		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用客数の減少によって経営危機にまで陥った十勝バスが、再生のために実施したのが、バスの停留所がある近隣の世帯へのヒアリングである。</li> <li>・<u>バスを利用しない人たちの多くは、「不便だから利用しない」のではなく「不安だから利用しない」という事実であった。</u>(例) 料金は前払いなのか後払いなのか、前方から乗るのか後方から乗るのか、整理券を取らなければいけないのか、目的地までの料金はいくらかかるのか、そもそも自分の家の前にあるバス停からはどこに行けるのか、そのような「わからないことへの不安」がバスの利用から足を遠ざけている最大の理由だったことが判明。</li> <li>・十勝バスでは、バスの乗り方を解説したチラシを作成して、戸別訪問の際に手渡ししながら説明してまわりました。さらには、そのバスの乗り方を記載した「おびひろバスマップ」を作成。当時の帯広ほぼ全世帯にあたる8万世帯に配布し、今ではバスの乗り方に加え行き先、料金や割引サービスなどをまとめた冊子を作成して8万世帯に配布</li> </ul>		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員自らが毎日運転している路線地域の一軒一軒を訪問して、「どうしてバスに乗っていただけないのか」とヒアリングを行った。</li> <li>※「利用客へのアンケートは、多くの企業でも行われている。しかし、こうしたアンケートは“利用客”の顧客満足度を上げるためのもので、当然だが“利用していない人”の回答は得られない。そのため、<u>『なぜ利用してもらえないのか』という回答を得るためには、“利用していない人”に尋ねなくてはわからない</u>」</li> <li>・この結果、沿線住民が「毎日バスが走っているのは知っているが、行き先や運賃がわからない」という不満を持っていたことから、同社は時刻表が記載されたパンフレットを住民に配布した。</li> <li>・利用者は徐々に増えていった。それにつれて、従業員一人ひとりも、会社の問題を自分の問題としてとらえはじめ、新たな工夫も生まれた。</li> </ul>		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益は利用客数が40年振りに増加。</li> <li>・利用客数は2011年度・前年度比で4.3%増、2012年度・前々年度比で12.4%増と大幅な回復を見せている(いずれも路線バス全体の数値)</li> </ul>		
参考資料 URL	<p>○TECH+ 40年ぶりに利用客数の増加を実現した十勝バスの挑戦! V字回復のキーワードは「交通の見える化」  <a href="https://news.mynavi.jp/techplus/kikaku/20170928-a001/">https://news.mynavi.jp/techplus/kikaku/20170928-a001/</a></p> <p>○NTTEAST 元気な企業はどこが違う? 成功企業の戦略とは(第16回)  <a href="https://business.ntt-east.co.jp/column/bizdrive/hokkaido-yellow-bus-growth.html">https://business.ntt-east.co.jp/column/bizdrive/hokkaido-yellow-bus-growth.html</a></p>		
静岡県内の 他地域展開 の可能性	<p>需要調査として利用者アンケートを行うことが多いが、自家用車以外の移動手段に振り向けるためには、利用したい人に地道に聞き取りを行うことが必要だと訴えかける事例である。</p>		
実現に向けた 留意点	<p>特になし</p>		

## 交通結節点における各種案内に関する他県事例

交通結節点における各種案内に関する他県事例

東部地域⑤

タイトル	近江鉄道定期券増収策		
取組地域	滋賀県東部5市5町	実施者	【主体】近江鉄道株式会社
実施時期	2022年		【調査】近畿運輸局
			【協働】近江鉄道みらいファクトリー
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最寄駅から概ね1km以内の事業所、通学定期券利用者10人以上の学校を対象に、<u>通勤通学の実態と交通手段選定事情を聞き取り調査</u>し、通学利用増加への具体的な取り組みを実施した。</li> <li>・駅近辺の工場の規模拡大による需要増加に伴い、近江鉄道では<u>途中無停車だった快速</u>を工場の最寄の武佐駅に<u>停車させ、通勤需要に対応した</u>。</li> </ul>		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お得な乗車券</li> <li>・「定期でお出かけきっぷ」：定期券利用者が土休日に定期券区間外を片道1回利用可能。定期券提示により100円で購入できる。</li> <li>・「通勤スーパー定期券」：平日のみ利用可能で、通常の通勤定期の約1割引き。土休日は定期券提示すると1乗車100円で全線利用可能である。</li> <li>・通学定期券購入者への補助制度を実施した。</li> <li>・駅から1km圏内の事業所を中心に、近江鉄道沿線企業意見交換会の開催した。</li> </ul>		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期購入者の増加</li> <li>・近江鉄道利用者の増加</li> </ul>		
参考資料URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近江近鉄 日本モビリティ・マネジメント会議資料 地域とつくる近江鉄道のみらい <a href="https://jcomm-or-jp.prm-ssl.jp/17th_jcomm/data/R4_O1-3.pdf">https://jcomm-or-jp.prm-ssl.jp/17th_jcomm/data/R4_O1-3.pdf</a></li> <li>○国土交通省 近江鉄道線の鉄道事業再構築実施計画の認定について <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001733821.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001733821.pdf</a></li> <li>○近畿運輸局 近江鉄道沿線地域における公共交通利用促進の在り方に関する調査等業務報告書（令和4年3月） <a href="https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000270830.pdf">https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000270830.pdf</a></li> </ul>		
静岡県内の他地域展開の可能性	通勤通学のニーズを適確に把握し、ニーズに応じた対応（快速列車の停車）を行い、公共交通利用者の増加を図った事例（モビリティマネジメントの優良事例）である。		
実現に向けた留意点	特になし		

# 交通結節点における各種案内に関する他県事例

## 関連図面等

### ■滋賀県の行政区画と鉄道路線略図

滋賀県の行政区画と鉄道路線略図



1896(明治29)年設立 126年目  
 沿線自治体 5市5町  
 沿線市町人口:49.2万人  
 (2022年4月:滋賀県毎月人口推計調査による)  
 駅数 33駅

線区	営業キロ	輸送密度
全線	59.5km	1,520人
① 米原～彦根	5.8km	435人
② 彦根～高宮	4.1km	2,363人
③ 高宮～八日市	15.4km	1,317人
④ 八日市～水口	18.5km	907人
⑤ 水口～貴生川	3.9km	1,062人
⑥ 高宮～多賀大社前	2.5km	569人
⑦ 八日市～近江八幡	9.3km	3,827人

JR接続駅である彦根駅や近江八幡駅に接続する路線が高密度。

※輸送密度は2021年度実績による。  
 ※平均乗車キロは8.2km

### ■通勤利用増加への具体的な取り組み

列車名	快速
乗る	○
行き先	八日市
近江八幡	08:00
武佐(滋賀)	08:05
平田(滋賀)	↓
市立	↓
太郎坊宮前	↓
新八日市	↓
八日市	08:15

**沿線企業との協働**

駅近辺の工場(A社)の規模拡張による需要増加

**近江鉄道**

途中無停車だった快速を武佐駅に停車させる

**A社**

快速利用が最適となるよう工場の勤務時間を変更

**お得な乗車券**

**定期でおでかけきっぷ**  
 定期券利用者が土休日に定期券区間外を片道1回利用可能。  
 定期券提示により100円で購入できる。

**通勤スーパー定期券**  
 平日のみ利用可能で、通常の通勤定期の約1割引き。土休日は定期券提示で1乗車100円で全線利用可能。

**法定協・活性化分科会の取り組み**

**近江鉄道沿線企業意見交換会の開催**  
 駅から1km圏内の事業所を中心に、ESG・SDG'sの観点から、通勤に公共交通を使うことについての意見交換会を開催予定(9/15)。

**自治体の支援**

通学定期券購入者への補助制度を実施